

北米東岸/ガルフ港での労使交渉について

10月初めに国際港湾労働者協会(ILA)が3日間のストライキを実施し、賃上げについては暫定的な合意が成立、現行の労働協約は2025年1月15日まで延長されることが決まりました。しかし、港湾の自動化に関する交渉については引き続き不透明な状況が続いております。

貨物の動きは引き続き西海岸経由に集中しており、ロサンゼルス(LOS ANGELES)の港を含む主要港が混雑した状態が続いています。

対策のご提案

カナダやメキシコ経由のクロスボーダーを利用する

内陸向けの鉄道が混雑しているため、LAからトラックで輸送する

可能であれば2ヶ月以上先の出荷まで船積みの計画を立てる

北米西岸向けについて、トランシップ船も起用する事で輸送を安定させる

アメリカ大統領選がもたらす物流への影響

11月5日に行われたアメリカ大統領選挙で、共和党のドナルド・トランプ氏が再選を果たし、大統領、上院、下院を共和党が独占する「トリプルレッド」となりました。これにより、トランプ氏の公約が実現に向けて進む可能性が高まりました。特に、中国製品に対して60%~100%、日本出し含む輸入品全てに10~20%の基本関税を賦課する可能性があり、2024年8月1日の関税引き上げ時と同様に、輸送コストの上昇や駆け込み需要が発生することが懸念されます。

以下のグラフは、2024年8月1日の関税引き上げが輸送コストに与えた影響を示したものです。今回も同様の影響が出る可能性があります。



！ 関税引き上げの影響予測

駆け込み需要の発生: 関税引き上げ前に輸送需要が急増する可能性があります

運賃の高騰: 特に、北太平洋航路やEU関連の輸送ルートで価格上昇が予測されます

物流スケジュールへの影響: 需要の集中により、輸送スケジュールの遅延が発生するリスクが高まります

ジャパントラストでは、お客様への影響を最小限に抑えるためのご提案をさせていただきます。
お問い合わせは各営業担当まで!

【年末年始の例外荷役について】

2001年から毎年行われていた年末年始の例外荷役が実施されないことになりました(ライフライン関連など緊急貨物に係る作業については、地区労使で協議した上で実施することが出来るとしています)。
12/31~1/4の4日間港湾荷役が停止することになり、1/5からの業務開始時には例年を遥かに超える混雑と遅れが生じると予想されております。